

2024年4月6日(土)

小仏城山(670m)・鍋パーティー

～Report by 高橋(雄)～

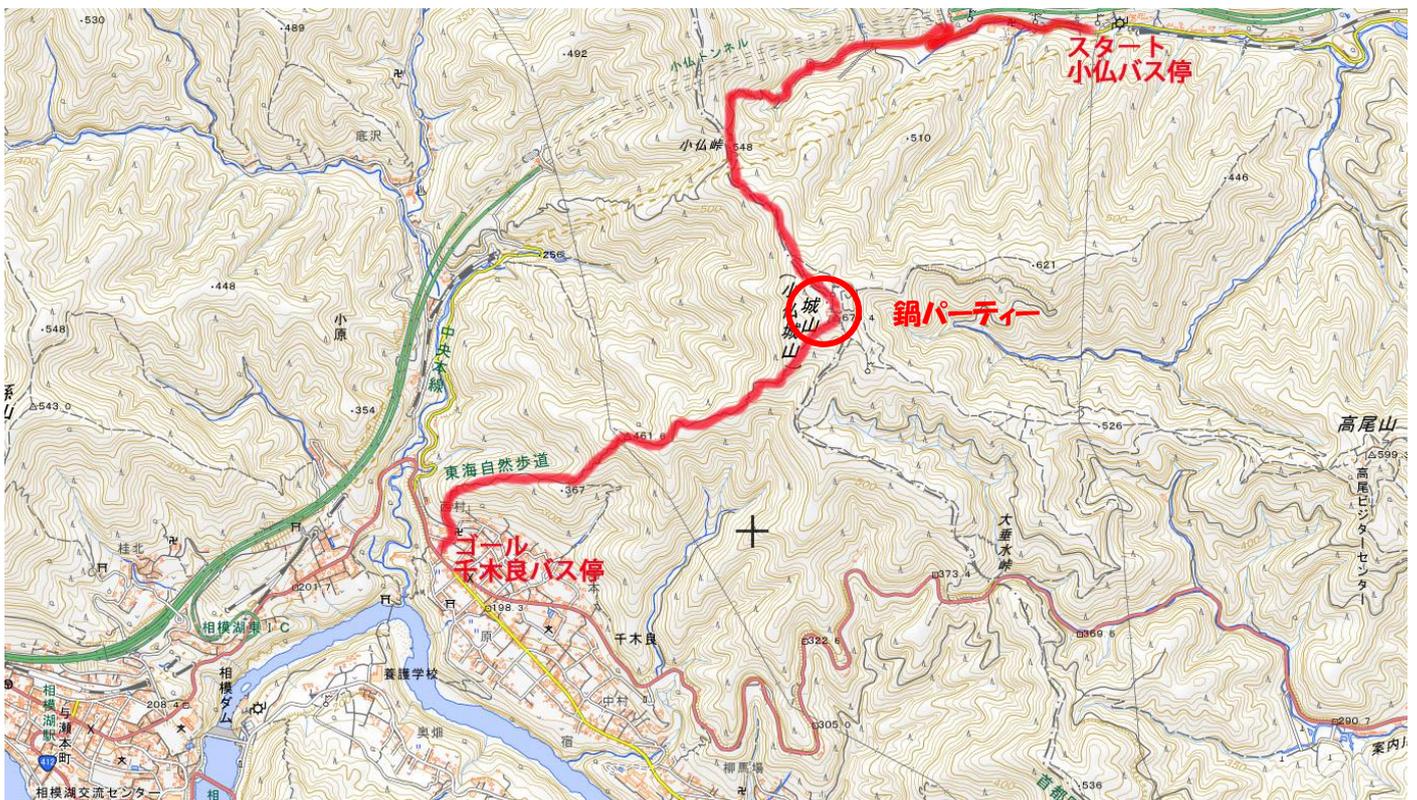
高尾山の西隣にある小仏城山は、山頂広場に大きなテーブルがたくさんあり、桜の木もあるので、春にお花見と鍋パーティーがいいのでは?と常々思っていたが、今回実現することができた。

さて、鍋は何にするか? Webで鍋の人気ランキングを検索してみたら、鍋つゆのメーカー、「ミツカン」のホームページで、鍋つゆ人気No.1は「ごま豆乳鍋」というのが目にとまった。

<https://www.mizkan.co.jp/nabe/product/shimemade/goma-tounyuu.html>

「ごま豆乳鍋」はまだ味わったことがない。豆乳は沸騰させたら湯葉ができるが大丈夫か? レシピにお餅もあるが、お餅を入れて融けたらどろどろになるのでは? とか不安が頭をよぎった。しかし、「とにかくNo.1なのだから間違いはないだろう。」とこれで決定。事前に試すこともせず、ぶっつけ本番で臨んだ。果たしてお味は?

参加者は熊本さん、池戸さん、安部さん、吉松さん、高橋文さん、根岸さん、布目さん、中島さん、私の9人。今回のコースは、高尾山を経由すると混むし距離も長いので、裏高尾ルートを選択。高尾からバスで小仏へ。小仏から登り、山頂で鍋をやり、相模湖側に下山して相模湖プレジャーフォレストの温泉に寄って帰る。



朝 8:05

JR 高尾駅北口、小仏行きバス乗り場。
高尾山の混雑は避けたつもりだが、小仏行きもご覧の長蛇の列。

我々の予定のバスは 8:32 発で、これはそのひとつ前、8:12 発の列。

8:12 発は増便され、3 台で出発した。



我々の集合時刻は 8:25 にしていた。
8:12 発のバスが出た後、熊本さん、安部さん、池戸さん、布目さん、吉松さんがやってきて、バス停の先頭は我々だった。しかしその後続々と人が来て、バス待ちの列はすぐに長くなった。根岸さん、中島さんも来て並んだ。最後は高橋文さん。

8:32、バスは 2 台で出発。最後に来た文さんは 2 台目で小仏に向かった。



8:53 小仏着。バス停の近くには、ピンクのハナモモが咲いていた。



9:01
小仏バス停で集合写真を撮りスタート。
標高 283m。
最初は舗装道路を登って行く。



9:06 道すがらのお寺の桜。
ソメイヨシノのようだが満開だった。



近くの山桜も満開。



山頂の桜も見ごろだといいが・・・

道端にはいろいろな花が咲いていた。

ウグイスも「ホーホケキョ」と鳴いている。春を実感。



シャガ



ヤマブキ



ムラサキハナナ



スミレ



ヘビイチゴ



ムスカリ



ニリンソウ（咲き始め）



マムシグサ



ヨゴレネコノメソウ



9:24 舗装道路終点。
体が暑くなり、一枚脱ぐ。



ここからは山道で傾斜がきつくなる。
鍋用の荷が重い・・・

<以下根岸さんの追加コメント>
根岸ボヤク 「自分の鍋とごま豆乳つゆに
加えて、スタート時にお預かりした布目さ
んの鍋とネギ束が重い。。」



9:58 小仏峠。
標高 548m。
明治天皇小休所の
碑があった。
我々も小休。



小仏峠から城山山頂への登りの道の取り掛かりは、階段道と脇道の二つがあった。
我々は楽そうな脇道を選んで進んだ。

しかし、脇道は昨日までの雨でぬかるんでいて、難儀した。靴も泥まみれ。



城山の山頂直下は木の根道の急登。
最後のがんばり。



10:30 城山山頂着。標高 670m。

時刻は予定通り。
一番のりは布目さん。
布目さんは下りは速いが、登りはゆっくりのことが多い。しかし今日はトップだ。
(大鍋とネギを根岸さんに預けて持ってもらった成果?)



10:35 しんがりの安部さんも山頂着。

ピンクのハナモモが咲いていた。
今日はスタートと山頂でハナモモがあった。



10:30 でお昼にはまだ早いですが、山頂は人が多く、たくさんあるテーブルもだいぶ埋まっていた。
しかしトイレに近い所の大きなテーブルがちょうど2つ空いており、すかさず占拠。
早速鍋の準備にとりかかる。

鍋の準備ができたところで、ひとまずワインで乾杯。



乾杯後はワイン、日本酒、おつまみをちびちびやりながら、ごま豆乳鍋にとりかかる。



鍋に豆乳つゆを入れ、沸騰させて豚肉をほぐして入れる。
肉が煮えたら、白菜、ニンジン、油揚げ、えのき茸、お餅、豆腐、ネギ、豆苗を投入。
煮えたらみんなで一杯目をいただく。



一回戦後、鍋の残りにポットのお湯と、ごま豆乳つゆの素を足して、うどんを入れ、布目さん持参の菜の花も加え、煮えたら二杯目をいただく。

お好みでラー油を加えると味変でおいしさアップ！

皆さんも豆乳鍋は初めてだったようだが、美味しい、うまい、と言っておかわりもして一滴も残さず完食！
ミツカン鍋つゆ人気 No.1 だけのことはあったようだ。

心配していた湯葉もできず、お餅も融けてどろどろになる前に取り出したので、悲惨な状況になることもなく、無事終了したので一安堵。



本日のサプライズ！
布目さんが食後のデザートにイチゴ大福を人数分作って持参されていた。

山でのいちご大福も感激の初体験。
たいへんおいしくいただきました。
ありがとうございました。



満腹になり、テーブルの上を撤収。

ところで、写真のバックの木は？
・・・そう、桜。

予定ではこれらの桜の木が見ごろで、その下で花見をしながら鍋パーティーのはずだったが、みごとに大外れ。



山頂の山桜はまだ一分咲き程度。

←は最も咲いていた枝で、他はほとんど蕾。

下界の桜は山桜も満開だったし、ハナモモは下界同様に山頂でも見ごろなのに、肝心の山頂の桜は大幅に遅れていた。

例年なら見ごろだったはず。

高低差 400m の違いが桜には現れた？



11:50 下山前に山頂標識で登頂証拠写真。
天気が良ければここからスカイツリーなども見えるが、今日は曇っていて見えなかった。

↓山頂広場のテーブルは昼時で満杯状態。



11:53

相模湖側（南側）に下山開始。

山頂の南斜面には水仙のお花畑があった。



お花畑以外にも山頂南側にはいろいろな花の木などが植えられており、目を楽しませてくれる。

山頂南斜面のお花畑周辺の花



モクレン



スモモ



ヒヤシンス



椿



レンギョウ



ユキヤナギ



相模湖側の東海自然歩道を下る。
南側なので、登りに使った北側の道で難儀したような泥んこはなかったが、ちょっと湿ったところで私と他にも何人か滑ってしりもちをつく場面もあった。
晴れて条件が良ければ富士山が見えるところもあるが、今回は曇りで見えなかった。



13:00 山道を下り終えた。
舗装道路との境にトイレがあった。
東海自然歩道だけあって整備されている。
予定より 30 分早いので、ここで小休止。

近辺で咲いていた花



ヤブズエンドウ



ヒメオドリコソウ



ハナニラ



クリスマスローズ



樹齢百余年という大きな桜があった。
しかしこれもまだ二分咲き程度。



舗装道路を 200m ほど歩いて、
13:25 千木良バス停にゴール。

相模湖駅行きのバスは 13:47。
たっぷり時間がある。
熊本さんは入念に靴の底の泥落とし。



近くの民家の庭では、白・ピンク・赤のハナ
モモや、黄色、白、ブルーの花々が春爛漫と
咲いていた。



バスが定刻通り来て乗車。
相模湖駅 13:56 着。

駅には靴の洗い場があり、そこで泥を洗い流して靴をきれいにすることができた。

布目さん、文さん、中島さんは所用があるとのことで、この後の温泉には寄らず、ここで別れ。

相模湖駅からJRで帰路へ。



残った6人は、相模湖駅 14:07 発のバスで相模湖プレジャーフォレストの温泉、「[うるり](#)」へ向かった。

14:23 うるり着。

プレジャーフォレストのたくさんの桜は見ごろを迎えていた。



温泉「うるり」は、「ゆーゆアワード 2021」で2位だったそうで、気持ちの良い温泉。高尾の極楽湯は超混雑するが、こちらは客は多くはなく、穴場である。

血行を良くする高濃度炭酸泉、ジェットバス、サウナなどにゆったり浸かってリラックス。

風呂上りはがらがらの食堂で乾杯し、まったり。



2時間たっぷりくつろいで、

16:23 「うるり」を出た。

16:38 のバスで相模湖駅へ。

16:49 相模湖駅着。

17:04 相模湖駅発、17:14 高尾着。

それぞれの帰途についた。

終日、曇っていたが、雨に降られることもなく、風もなく快適に鍋パーティーをすることができた。山頂の桜が咲いていなかったのは全く残念だったが、登る前と下山後の温泉で桜は十分に見ることができ、春の花々と温泉も満喫し、一日を無事に過ごすことができました。お疲れさまでした。

付録：[鍋の役割り分担と費用 Excel](#)